

# 農業×旅×交流



## 地方と都市をつなぐ

新庄市地域おこし協力隊の石塚さんは、令和4年5月に着任し、都市と地方の交流促進事業を担当している。様々な業種において人手不足が深刻化している問題に対し、多様な人材の確保に取り組んでいたところ、新たな解決方法として、株式会社おてつたび（東京都、代表取締役・永岡里菜氏）が事業展開している、旅行しながら現地で働く「おてつたび」に着目した。

石塚さんは、地域の人手不足に困っている事業者へ積極的に声をかけ、旅行者のサポートにも取り組んでいる。今年度はすでに20代から60代までの45名が全国から最上地域を訪れ、それぞれ農業や宿泊業の現場で働いている。

## 交流してわかる最上の良さ

訪れる人の中には、農作業を通して居心地の良さを感じ、最上地域を気に入ってくれる人も多い。事業者にとっては人手不足の解消だけではなく、旅行者しか感じ取れない地元の一面を知ることができ活性化にもつながるそうだ。

石塚さんは「最上を訪れた経験がきっかけで山形ファンになってもらえたら。いずれは100人に1人でも山形県に移住する人が出てくると嬉しい。」と語ってくれた。



新庄市  
地域おこし協力隊  
石塚崇さん



# 農業者とおてつびと※に聞いてみた！

※おてつびと…おてつたびで来てくれた人の総称



▲青柳さん

▲山路さん

**農事組合法人いずえむ 代表理事 青柳栄一さん（金山町）**  
分からないことがあれば従業員に聞いてもらうことで、お互いの交流や勉強になり社内の士気も上がった。金山町では当法人が最初に始め、町内でもおてつたびが広まってきている。今は受け入れ側だが、冬には自分もおてつびとして活動もしてみたい。

**おてつびと 山路さん（宮崎県）森の家（真室川町）といずえむ（金山町）に滞在**

ドローン防除の補助作業をした。初めは無線からの方言が聞き取れず苦労したが、だんだん聞き取れるように。農作業を通して、人と話すことが好きだと気付いた。山形ファンなので最上地域以外も訪れて、山形制覇したい。



▲山路さんとリンゴりらっぱの皆さん

**伝承野菜農家森の家（真室川町）・リンゴりらっぱ（新庄市）代表取締役 佐藤春樹さん**

今年の春夏、森の家では芋の植え付け作業、リンゴりらっぱでは、リンゴの摘果作業でおてつたびを活用した。忙しい時期に来てくれたので助かった。おてつたびで来てくれる方は志があり、勉強熱心な方が多い印象。



▲佐藤さん

**おてつびと 関さん（東京都）株式会社かねやま須藤農園に滞在**

自然に囲まれた生活にあこがれがあった。金山町でその生活をほぼ実現できているが、虫の多さには驚いた。初めての農作業はきつく、毎日湿布を貼っていたが、最近、朝には自然と目が覚め、日々健康になっているように感じる。



▲関さん

▲清水さん



▲金山まつりでのひとこま

**おてつびと 清水さん（東京都）株式会社かねやま須藤農園に滞在**

朝5時から昼までは農園で働き、午後は県内を観光している。滞在先でいただいたお米がおいしくて感動した。一緒に働く地元の方々の方言が理解できないこともあるが、温かく迎えてくださり、毎日充実した日々を過ごしている。

「おてつたび」についてもっと詳しく！ 株式会社おてつたび：<https://otetsutabi.com/>



お問い合わせ先：新庄市エコロジーガーデン 地域おこし協力隊 石塚 TEL 0233-29-2122